



夢？趣味？道楽？

私は釣りが好きだ。子ども頃、近くの川でよく釣りをした。成人してしばらく忘れていたが、友人から誘われたのを機に磯釣りの魅力にはまってしまった。会社で同好会を結成して、大会を開いたりした。

ちようどその頃、従兄弟がプレジャーボートを購入した。船釣りに誘われた私は、すぐにその醍醐味に取り付かれ、自分もマイボートが欲しくなり、小型船舶操縦士の免許を取った。そんな私に妻は、「道楽もいかげんにして。台風や津波の時はどうするの。沖で遭難したら…」と反対。それでも、私は妻に内緒でボートを購入した。

妻に船の楽しさを知ってもらいたいと、クルージングに



新野町 井原 稔喜さん

誘った。「あれが伊島だよ、ここが阿部、伊座利…」と教えながら周遊を楽しんだ。しかし、少し船を泊めると途端に船酔いがひどくなり、「二度と船は嫌だ。」と言われてしまった。

船はだめでも、波止釣りなどは大好きな妻。料理の腕前も確かで、私が釣ってきた魚は、妻の手によって我が家の食卓をレストランに変えてくれる。

私の夢は、妻と2人で瀬戸内海を周遊すること。もちろんマイボートで。実現できるかどうかは妻しだい。車や家、土地は、大きいほど税金も高くなるが、夢はどんなに大きくても税金はかからない。いくつになっても夢を持つていたいものだ。

次は、見能林町の池添哲哉さんをお願いします。

市民文芸

短歌

阿南市春季短歌大会作品

清 喜恵
夫の喜寿祝いに集いてきし子等は尾燈灯して
夫の喜寿祝いに集いてきし子等は尾燈灯して
夫の喜寿祝いに集いてきし子等は尾燈灯して
夫の喜寿祝いに集いてきし子等は尾燈灯して

西崎まき子
「じゃまたね」またのある日を疑はず夕焼
けいろの店に手を振る

松島 博子
桜よりすみれ色へと移る空螺鈿細工の星が
あらわる

程野 茂
藤棚を組立てし家は県道沿い車より見るその
の伸び具合い

近藤美智子
未枯れ野に目覚めし土筆は春を呼び袴まとい
いて背くらべをする

山根千代美
ゆつたりと陽をあび歩む母猫の枝頭のさえ
ずり耳そぼだてる

三好 薫
ものさがし又していると額の中ふくみ笑いの
夫は見ている

俳句

阿南市俳句連合会選

川田 政子
種袋中で芽を切る命かな

雨風の予報聞きつつ大根時く
松村みどり

大空の果てまで続く鱗雲
安部みちこ

眼をこらしとらへたる鷹消ゆるまで
小西 晴美

初孫の産着まぶしや秋祭
佐野 極童

暴風雨去りて今宵の月清か
高尾 房枝

これからも二人三脚菊日和
阿部 勝代

深む秋介護施設のまた一つ
久米 千草

秋晴をともに戴き釣り敵
品川 重晴

夕闇に彩あるものは曼殊沙華
青木 慧

川柳

阿南川柳会 高木旬笑選

そろそろと煮込んだ味に出る人気
湯浅 三子

ふるさとが変わる田畑が減っていく
田上 鶴子

出雲の神留守で釣書が行き詰る
武田 敏子

ばあちゃんのハグに二十歳が照れている
鈴木レイ子

明星と交わす心のメッセージ
林 満子